

物価高騰、賃金は上がらず生活が苦しいと多くの声がある。また、国も給食費無料化を進めている。状況を聞く。

答 学校給食費の無償化については、多額の財源が必要となるので、今後における国の動向を注視しながら、財源となる予算が具体的に示された時点で、無償化を実施することが望ましいと考えている。

意見書

議員より提出された次の意見書案を全会一致で原案のとおり可決し、国会及び関係行政庁に提出しました。

◎意見書案第2号 訪問介護事業者への支援と介護事業経営調査の見直しを求める意見書(抜粋)

厚生労働省が実施した令和6年度の介護報酬改定により、訪問介護事業所の来年度以降の経営はさらに厳しくなる。事業者より声が上がっている。令和6年度の介護報酬改定率は介護保険サービス全体で1・59%のプラス改定だが、訪問介護サービスの基本報酬は

2%以上の引き下げとなった。

令和5年度介護事業経営実態調査にて、訪問介護サービスは他のサービスより利益率が向上した結果から当該サービスの基本報酬が引き下げられたものであるが、公定価格で運営する介護現場においては、他業界に比べ賃上げの波に乗れず、介護人材が他の業種に流出する恐れが現実的なものになっている。

今回の引き下げにより、団塊の世代が後期高齢になり、在宅介護サービスの需要が増大する中、訪問介護の報酬の引き下げは介護離職を引き起こし、国民誰もが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して暮らし続けることのできる地域包括ケアシステムの実現を目指していく国の方針に乖離するものと懸念する。よって国においては、訪問介護事業所による安定した介護サービスの維持、確保を図るため、次の事項について、特段の措置を講ずるよう要望する。

一 3年以内に、この度の訪問介護基本報酬引下げの地方における影響を慎重に見極め、必要に応じて事業継続への支

援を行うこと。

一 都市部と地方部での経営実態の違いを踏まえて、介護事業経営調査の見直しを図ること。

臨時会の概要

令和6年第1回臨時会が1月17日に開催され、人事議案1件、予算議案1件、条例議案1件の3議案が審議されました。

人事議案1件は、副市長の選任につき同意を求めるもので、副市長に現企画課長の上村秀生氏を選任しようとするものであり、予算議案1件は、一般会計補正予算で、全額国費にて価格高騰緊急支援給付金(追加給付分)を給付するため、9376万2千円を計上したもので、条例議案1件は、戸籍法の一部が改正されたことに伴い、宿毛市手数料徴収条例の一部を改正するものです。

審議の結果、いずれも全会一致で同意・可決されました。また、2月6日には、第2回臨時会が開催され、予算議案2件、その他議案1件の3議案が審議されました。予算議案2件は、沖の島開

発総合センターの光熱費などを補正した宿毛市一般会計補正予算及び宿毛ポンプ場の修繕工事費などを補正した下水道事業特別会計補正予算であり、その他議案1件は、8月7日の議会議決を受け「岸之上・竹村 特定建設工事共同企業体」と契約締結した「宿毛市学校給食センター新築工事」について、工事内容に変更が生じたので、議会の議決を求めるものです。

審議の結果、いずれも全会一致で可決されました。

行政視察報告

産業厚生常任委員会が先進地視察を実施しましたので、その概要を報告します。

日時 1月25日(木)

午前9時30分より

視察地 大分県豊後高田市

視察テーマ

「昭和の町について」

豊後高田市では、商店街のまちなみ実態調査を実施したところ、建物の70%が昭和30年代以前の建物であることが判明し、平成13年より昭和の町として取り組みが始まりました。

主に4つのキーワードを主軸として展開されていました。

①昭和の建築再生
店の看板や入り口を木製に変え、もつと「昭和」らしくする。

②昭和の歴史再生「一店一宝」
町を散策する時に、楽しんでもらうことを目的に、店にある昔の冷蔵庫など、昭和の品を展示する。

③昭和の商品再生「一点二品」
昭和を感じるアイスクリームやキャンデーなどを店の自慢の一品として取り扱う。

④昭和の商人再生
方言を交えて町や店の歴史などを方言を交えて案内する昭和の案内人制度の導入。

また、昭和初期に建てられた農業倉庫を雨天時でも観光ができる「昭和ロマン蔵」の整備に加え、市・商工会議所・金融機関が出資した「豊後高田市観光まちづくり株式会社」が、観光客の誘致や受け入れ、施設の運営を行っています。

取り組みから20年が経過した現在、平日は海外からの観光客用に、多言語で町を紹介する動画の作製や昭和の町の周辺にある公園のリニューアル、店舗兼住宅を新たに整備するなどの取り組みが行われています。また、後継者問題